

令和7年度

教育に関する事務の管理及び執行状況  
の点検・評価に関する報告書  
(令和6年度事業)

令和7年8月

小野町教育委員会

## 目 次

■はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
■点検及び評価制度の概要	
1 目 的・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 点検・評価する事務の対象・・・・・・・・	2
3 点検・評価の実施方法・・・・・・・・	2
4 学識経験者の知見の活用・・・・・・・・	2～3
5 点検・評価の具体的な方法・・・・・・・・	3
6 町民への公表・・・・・・・・	3
7 評価委員会の点検・評価の概要・・・・・・・・	4～5
8 令和7年度教育委員会事業点検・評価（令和6年度事業） 結果一覧表・・・・・・・・	6～7

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっています。

小野町教育委員会における令和6年度の教育行政は、「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」を将来像とする「小野町総合計画」のもと実施されました。中でもまちづくりの基本姿勢の第一、「『人』を大切にし、『人』を育てる。」を念頭に基本目標の「(1)人を育む子育て・教育・文化のまち」の実現に向けて教育委員会の「教育大綱」及び「教育委員会重点施策」を策定しさまざまな施策を実施してまいりました。

生きて使える確かな学力を培うこと、人とのつながりを大切にしたい心豊かな人間性を培うこと、そして、たくましく生きるための健康や体力を培うことを各領域共通の基本におき、教育委員会が点検・評価（自己評価）を行うとともに、評価の客観性を確保するため、「小野町教育行政評価委員会」を設置し、学識経験者から評価及び意見をいただき、その結果を本報告書としてまとめたものであります。

小野町教育委員会は、小野町教育行政評価委員会の点検・評価の結果を踏まえて、今後とも学校教育や生涯学習・スポーツ活動の充実、青少年健全育成の推進及び町民文化の向上などに努めて参りたいと考えております。

町民の皆様には、本町の教育行政の充実発展のために、更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年8月

小野町教育委員会

## 点検及び評価制度の概要

### 1 目的

教育委員会の基本方針に沿って計画的に教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが点検・評価を行うとともに、学識経験者の提言・意見を踏まえて、効果的な教育行政をより一層推進するとともに、その結果を町民に公表することにより、開かれた教育委員会を目指すことを目的とする。

### 2 点検・評価する事務の対象

本町教育行政の行動計画である、「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」を将来像とする「小野町総合計画」及び「小野町教育委員会重点施策」等に掲げられた事務事業のうち、教育委員会が所管する事業を点検・評価の対象としている。

なお、点検及び評価の対象年度については、前年度の事務事業を対象とする。

教育課所管・・・・・・・・・28事業

### 3 点検・評価の実施方法

点検・評価は重点施策の実施状況について明らかにするとともに、事業の課題等を分析し、今後の対応方針について自己評価を行うとともに、客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々により点検・評価が行われた。

### 4 学識経験者の知見の活用

小野町教育行政評価委員会設置要綱に基づき、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）について、教育に関し学識を有する方々の知見を活用することにより客観性を確保するため、次の3名の委員から様々な意見・評価をいただいた。

#### ○小野町教育行政評価委員会委員名簿

(敬称略)

職名	氏名	備考
委員長	根内 喜代重	元公立学校教員
委員長職務代理者	先崎 和子	元私立大学准教授
委員	蓬田 洋	小野小学校PTA会長

○小野町教育行政評価委員会は、2回開催した。

区 分	開 催 日	内 容
第1回	令和7年7月1日（火）	①教育委員会における自己評価について ②教育行政評価委員会の意見及び評価について（点検評価の手法）
第2回	令和7年8月8日（金）	①各委員の評価結果について ②教育行政評価委員会の評価・意見の集約について

## 5 点検・評価の具体的な方法

### （1）点検及び評価の主体

点検及び評価は、当該事務事業を企画立案し、遂行する立場から教育委員会が行うものとする。

### （2）点検及び評価の視点

点検及び評価は、事務事業の必要性、効率性、有効性その他の事項を視点として行うものとする。

### （3）教育委員会による自己評価

#### ①作業シート（事業評価調書）の作成

教育委員会が所管する事務事業について、現状の把握と目指す指標の設定（数値化できる場合は可能な限り数値化する）を行い、上記（2）の視点をもとに4段階の評価を行う。

#### ②事業点検・評価シートの作成

事務事業（28事業）毎に作成し、それぞれ4段階の評価【上記①の作業シートに基づき（A：十分成果が上がって良好に行われている B：成果が上がって概ね良好に行われている C：成果が十分に上がっておらず改善が必要 D：成果がほとんど上がっておらず基本的見直しが必要）】を行い、事業の成果と課題等を明らかにする。

### （4）教育行政評価委員会の意見・評価

点検・評価にあたっては、客観性を確保するため、小野町教育行政評価委員会を設置し、教育委員会が所管する事務事業の自己評価に対する評価や今後の事務事業の方向性等に関して、意見を伺うものとする。

## 6 町民への公表

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書は、町のホームページに掲載する。

## 7 評価委員会の点検・評価の概要

### (1) 施策（事業）の評価の概況

各事務事業の評価は目標に対する達成度を基本としつつ、事業の進捗状況などを踏まえて、有効性や改善点など総合的に判断して「A」、「B」、「C」、「D」の4段階で評価をしている。

#### 【評価区分と今後の方向性】

- A：十分成果が上がって良好に行われている
- B：成果が上がって概ね良好に行われている
- C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
- D：成果がほとんど上がっておらず基本的見直しが必要

※目標値を設定していない場合は、指標の推移、事業の進捗状況等を総合的に判断して評価する。

上記評価区分を踏まえて、「さらに重点化」、「現状のまま継続」、「見直しの上継続」、「事業の縮小」、「休止・廃止」など今後の方向性を定める。

### (2) 点検・評価の結果

点検・評価の結果については、各委員の「評価」と「意見」を取りまとめ、点検・評価シートに記載している。なお、個別の点検・評価シートについては、8ページ以降に掲載している。

### (3) 教育委員会自己点検・評価の概要

教育委員会における事務事業28事業の評価については、「A」が12事業、「B」も15事業、「C」が1事業となっており、今後の方向性としては、「さらに重点化」が6事業、「現状のまま継続」が19事業、「見直しの上継続」が1事業、「休止・廃止」2事業となっている。

### (4) 教育行政評価委員会からの点検・評価結果

教育委員会が実施した28事業の自己評価を踏まえて、小野町教育行政評価委員会としての総合評価、今後の方向性及び個別事業毎の意見をいただいた。

その結果、総合評価は「A」が12事業、「B」は16事業となっている。

なお、小野町教育行政評価委員会における総括評価については、次のとおりである。

## 令和7年度 小野町教育行政評価

小野町教育行政評価委員会

### 【総括評価】

令和6年度の小野町教育委員会の教育行政は、「子どもから大人までのすべての町民が、生涯を通じて目標に向かって楽しく学び、文化的・健康的な生活を送れる環境を創り、心豊かでたくましい人づくりや調和のとれた人間力向上を目指すこと」を基本理念として、教育の充実と振興のため、きめ細やかな取り組みが実施されていた。

学校教育分野においては、前年度に引き続き、小学生を対象としたスプリング・ショートプログラムや中学生を対象としたサマー・ショートプログラムを実施し、令和6年度は新たに小学校4年生から中学校3年生までを対象とした「夏休み Self-Study Support」(5日間)を実施するなど、児童生徒の学習機会のさらなる拡充を図り、確かな学力の向上に向けて積極的な取り組みを行っている。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを積極的に活用し、悩みを抱える児童生徒の心身の安定に貢献している。特に、スクールソーシャルワーカーは、児童生徒の家庭環境の把握に努めながら、個々の実態に応じて支援に当たっている。今後は、学校教育のさらなる充実に向けて、教育環境の整備や各種学力対策事業の適切な推進及びICT支援員の有効活用などによって教育効果を最大限に高め、児童生徒の「生きる力」である確かな学力・豊かな心・健やかな体が着実に育まれるよう、適正な学びの保障に努めていただきたい。

生涯学習分野においては、6年度新たに2事業が追加された。「小野高校連携推進事業」については、令和8年度の高校統合により休止・廃止の方向であるが、基礎学力向上の目標は概ね達成されたとともに、「放課後子どもプラン事業」は、サポーターの協力のもと円滑に運営されており、今後は地域と連携した豊かな体験活動を積極的に取り入れていくことが望まれる。また、多目的研修集会施設や勤労青少年ホームなどの各施設については、適切な維持管理と利便性の向上が図られている。小・中学校と連携した図書システムの活用については、学校のニーズに応じた配本業務が行われ、文化の館と一緒にした図書館利用が読書活動の推進にもつながっている。文化財の管理運営では、天然記念物の養生などが確実に行われている。地域住民が芸術・文化・スポーツに親しめるよう、自発的な生涯学習と社会活動の充実に取り組まれており、今後も地域の情勢を見極めながら、生涯学習・生涯スポーツの充実と振興のため、住民ニーズを的確に捉えた魅力ある事業展開と安全で利用しやすい施設の整備及び効果的な利活用に努めていただきたい。

子どもたちを取り巻く環境が急激に変化していく中で、家庭と地域のつながりや人々の価値観も大きく変化しており、社会全体における教育意識や倫理観の低下など諸課題が顕著となっている。そのような中、地域の財産である人材の育成は、本町教育に課せられた重要な責務である。今後も、未来を切り拓く子どもの育成と、生涯にわたる学びの支援及びスポーツの推進を重点として、地域及び関係機関との連携強化に努めながら、教育行政の更なる充実を図っていただきたい。

# 令和7年度教育委員会事業点検・評価(令和6年度事業)結果一覧表

(教育課)

No.	中事業名称	教育委員会 自己評価	今後の方向性	教育行政評価委員会		
				総合評価	今後の方向性	コメント(意見・評価)
1	勤労青少年ホーム管理運営事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	各種研修会や映画教室の実施を通して、令和5年度に設置されたプロジェクターやスクリーンを含めて施設設備の有効活用が図られている。今後も施設を永続的かつ安定的に利活用できるように住民の生涯学習等の拠点として一層充実した管理運営が図られることを期待する。
2	多目的研修集会施設管理事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	大規模改修(全館冷暖房完備及びトイレ等の環境衛生設備の充実など)により、趣味や生きがいづくりの拠点としての利便性がさらに向上している。今後も、経年劣化に伴う必要な修繕及び音響設備なども計画的に修繕し適切な管理運営を期待したい。また、非常時の避難所等としての役割が確実に果たせるようにも管理運営を期待する。
3	教育委員会運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	定例会及び早期対応が求められる臨時会などが適正に運営されている。今後もこれを継続し学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組んでいただきたい。小野町教育大綱の実効ある取組に向けては、教育行政推進のさらなる充実を図るため、総合教育会議を複数回開催することが望まれる。
4	教育委員会事務局事業	B	さらに重点化	B	さらに重点化	小中学校との連携のもとに児童生徒の学力や教員の実践的指導力の向上を図る事業が着実に推進され、一定の成果を上げている。小中学校にALTが派遣され継続のある外国語指導を通じて国際理解教育が推進されている。また、特別支援教育においても相談体制等の充実が図られている。今後も児童生徒の基礎学力の向上や教職員の資質向上と教育効果の向上に引き続き取り組んでいただきたい。
5	森林環境学習事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	教育課程編成にあたっては、今後も小中学校との共通理解を図るとともに、SDGsの視点も踏まえながら創意工夫ある森林環境学習が実施されることを期待する。また、小・中学校児童生徒を対象に森林が持つ多様な役割や林業について学習する機会を引き続き提供していただきたい。
6	スクールバス運行事業	A	見直しの上継続	A	見直しの上継続	スクールバス運行に対する保護者のニーズは高く、児童生徒の安全確保及び適切な遠距離通学支援がなされている。児童生徒の登下校の安全確保及び保護者の負担軽減を重視し、保護者の要望を真摯に受け止め、児童生徒の所在や人数等の変動に応じて、随時必要な見直しを実施して、適切かつ効果的な支援を期待する。
7	小学校管理事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	小野小学校の使用にあたっては、今後も安全性の確保とともに、教育効果が一層高まるよう適切な維持管理に努められたい。また、廃校となった施設については、先進事例や地域の実態をふまえて有効活用の検討、必要な整備を計画的に実施されたい。児童の安全確保を第一に考えながら、緊急性の伴うものを優先的、計画的に整備を行っていただきたい。
8	小学校教育振興事業	A	さらに重点化	A	さらに重点化	学校教育の充実に向けて、教育環境の整備や各種学力対策事業が適正に推進されている。特に、各種検定の受検補助やスプリング・ショートプログラムの実施など個への支援充実が小野町の強みである。また、物価高騰による給食費値上げに対する保護者への経済的負担の軽減策は評価できる。なお、GIGAスクール構想の推進にあたっては、今後もICT支援員の配置及び有効活用を図るとともに、MEXOBT(メグピット)活用の具体的な推進を期待したい。
9	中学校管理事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	生徒が一日の大半を過ごす場所であるので、快適な教育環境づくりを行っていただきたい。今後も施設の適正な管理運営が図り、老朽化が進んでいるプール等施設の計画的な維持管理運営を期待する。
10	中学校教育振興事業	A	さらに重点化	A	さらに重点化	学校教育の充実に向けて、教育環境の整備や各種学力対策事業が良好に推進されている。特に、SCやSSWの配置は、思春期にある生徒の心身の安定と学びの保障につながっておりさらなる充実を期待したい。サマーン・ショートプログラムは、生徒の進路実現を図るうえで有効である。また、電子黒板等のICT機器については、学力向上に向けた一層の有効活用を期待する。
11	社会教育総務事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	生涯学習や社会教育活動等に関する事業について外部の評価や意見を取り入れ効率的な事業展開がされている。今後、社会教育研究会等の各研修会等に積極的に参加をし、工夫をもって対処していただきたい。
12	生涯学習振興事業	B	さらに重点化	B	さらに重点化	刻々と変化する住民のすべてのニーズを網羅するのは困難ではあるが、今後も建設的かつ持続的な対応の確かな事業推進を図っていただきたい。今後も建設的かつ持続的な対応の確かな事業の推進に期待したい。
13	小野高校連携推進事業	C	休止・廃止	B	休止・廃止	県立小野高校と県立船引高校の統合により終了する予定の事業ではあるが、『学習くらぶ』へ支援員を派遣し、生徒の基礎学力向上の一助となっているなど目標は達成していると考えられる。
14	国際交流事業	A	さらに重点化	A	さらに重点化	小中学生国際交流体験事業や海外研修助成事業により、国際理解を図るとともに英語力の強化、海外の文化に触れる機会が効率よく展開されている。今後は地域住民が積極的に参加でき、在住外国人との交流が図れるような国際交流事業を展開していただきたい。

No.	中事業名称	教育委員会 自己評価	今後の方向性	教育行政評価委員会		
				総合評価	今後の方向性	コメント(意見・評価)
15	公民館管理運営事業	B	見直しの上継続	B	見直しの上継続	多目的研修集会施設内への公民館事務所の設置は、利便性や機能性を高めており、生涯学習の拠点として、地域住民の教養の向上や生活文化の振興などに寄与している。なお、指定管理の導入によって整備が進められている雁股田分館が、生涯学習の拠点として積極的に活用されることを期待する。
16	放課後子どもプラン事業	B	さらに重点化	B	さらに重点化	放課後の児童の安全・安心な環境づくりの拠点として「放課後子ども教室」をサポートの協力を得ながらきめ細かなサポートを行っていくことを期待したい。さらに、今後は、地域との連携強化による豊かな体験活動の充実も期待したい。
17	一般管理運営事業(郷土史料館)	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	町民が歴史・文化に触れられる場として適切に管理運営されている。今後も地域住民の情報収集や芸術・文化活動等の場として維持管理がなされることを期待するとともに、更なる利活用の推進も期待したい。
18	丘灯至夫記念館管理運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	丘灯至夫氏の功績・業績を偉人マンガとして制作した昨年度の事業を伸展させた作詩コンクールは、地域の活力及び町民の自信と誇りにもつながり、大いに評価できる。今後の創意工夫ある活用事業に期待する。
19	図書館管理運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	地域包括センターとの連携事業の継続により、高齢者施設などの関係者らに認知症コーナーが利用されるなど、高齢者向けの事業の充実が図られている。今後も各方面に向けて利用拡大に向けた取り組みを期待したい。
20	美術館管理運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	地域住民の作品発表、さまざまな企画展や講座の実施などにより、活動の拠点として有効活用されている。今後、希望する人が参加できる芸術鑑賞講座の手法を検討し、公平性のある事業運営を期待したい。
21	文化財管理運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	種まき桜の保護事業、文化財ウオークなどの活用事業が着実に展開されている。「諏訪神社の爺スギ楯スギ」の保全についても、計画作成に向けた具体的な取り組みが見られ、今後の進展に期待する。
22	社会体育総務事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	体育協会・スポーツ少年加盟団体とともに、各種大会に参加する等、活動は活発に行われている。また、各種大会・講習会を実施し、町民の技術の向上と人的交流が図られている。今後もスポーツ推進委員等の意見を拝聴し、スポーツ人口の増加を図っていただきたい。
23	スポーツ振興事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	「ラジオ体操講習会・健康ウオーク・ポッチャ体験会」など幅広い年齢層を対象としたスポーツの機会を提供するとともに、年間を通した大会や教室が冬期間の運動不足解消にも効果的であり、健康の維持増進などに繋がっている。今後も住民自らが運動に親しむことができるよう事業展開に努めていただきたい。
24	学校体育施設開放事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	身近な場所でスポーツができる各学校体育館施設は、生涯スポーツの向上、町民の体力向上、交流の場として有効活用されている。今後も利用促進と適切な整備、管理運営を期待したい。
25	体育施設事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	町民の生涯スポーツの場の提供やコミュニケーションの場として有効に展開されている。今後も適切な管理運営を行うとともに老朽化に対して計画的な修繕を期待したい。
26	給食センター管理運営事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	諸経費の高騰が懸念される状況下であるが、児童生徒へ安全で必要十分な栄養価の高い学校給食が提供されている。今後とも子ども一人ひとりが望ましい食習慣の基礎を体得することができるよう学校給食の安定供給に努めていただきたい。
27	学校給食検査体制整備事業	A	休止・廃止	A	休止・廃止	放射性物質検査体制の整備により学校給食への安心・安全の確保に向けて取り組みが充実している。今後の事業実施については、福島県の学校給食モニタリング事業や近隣自治体の動向、保護者のニーズ等を考慮して検討していただきたい。
28	文化・体育振興事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	各種団体への補助、顕著事業などを通して文化・体育振興に効果的に推進されている。今後も、基金の活用の周知、基金の必要性のPR、基金の増資の呼びかけのほか、各種団体の補助金の適正な執行を図り、基金の計画的な運用に努めていただきたい。